

第7期介護保険事業計画「取組と目標」に対する自己評価シート

保険者名	第7期介護保険事業計画に記載の内容				H30年度(年度末実績)		
	区分	現状と課題	第7期における具体的な取組	目標 (事業内容、指標等)	実施内容	自己評価	課題と対応策
黒潮町	①自立支援・介護予防・重度化防止	介護予防・日常生活圏ニーズ調査では、運動や外出の状況については、転倒に対する不安について「不安である」と回答した人が半数以上、外出の機会について「減っている」と回答した人が約2割となっています。外出を控えている理由では、「足腰などの痛み」が57%となっています。	★いつまでも健やかに暮らせる黒潮町(計画P57～) 地区ふれあいサロンや黒潮げんき体操など、住民主体の介護予防活動を支援します。(計画P65・66)	住民同士が身近な交流スペースに通うことで、閉じこもり予防、介護予防を図ります。 ・地区ふれあいサロン ・延参加人数 佐賀地域600人、大方地域1,800人 ・黒潮げんき体操 延参加者数 3,000人	・地区ふれあいサロン 延参加人数 佐賀地域615人、大方地域2,143人 ・黒潮げんき体操 延参加者数 3,724人	◎	延参加者数は、計画値を上回りました。交流できる場づくりやサロン活動が展開されるよう、引き続き取り組みを進めていきます。
	①自立支援・介護予防・重度化防止	外出頻度の減少は、運動機能の低下を引き起こす可能性があるため、早期段階での予防・対策が重要となります。	★いつまでも健やかに暮らせる黒潮町(計画P57～) 通所型短期集中運動機能向上サービス(C型)により、要支援・事業対象者のADL・IADLの改善を図ります。(P70)	大方地域(デイサービスセンター浮鞭)で、通所型短期集中運動機能向上サービス(C型)を実施します。 ・利用者数(月平均) 7人	大方地域(デイサービスセンター浮鞭)で実施し、1クール(3ヶ月)4～7名が利用しました。また、今年度より、改善率に応じた評価加算を支給しました。 ・利用者数(月平均) 5人 ・改善率(終了後3ヶ月間介護保険利用なし) 93.7%	○	利用者数は、計画値を下回りました。C型対象者の選定に労力がかかっていることが理由と考えられるため、あつたかふれあいセンター等、関係機関との連携が必要です。また、現在は大方地域のみで実施していますが、関係機関と協議し、令和元年7月からは佐賀地域(通所介護事業所こぶし)でも開始する予定です。
	①自立支援・介護予防・重度化防止	黒潮町の今後の人口推計では、平成30年以降、総人口は毎年260人程度減少しますが、65歳以上の高齢者割合は、平成28年の41.3%から徐々に増加し、平成32年には44.8%となる予測となっています。また、第1号被保険者の認定者数の推計をみると、平成29年度841人(認定率17.4%)、平成32年度861人(同18.0%)と今後も上昇が続く見込みです。今後も、高齢化率の増加に伴い認定者の増加が見込まれるため、介護予防の強化や重度化防止が求められます。	★介護が必要になっても安心して暮らせる黒潮町(計画P72～) 地域ケア会議を活用したケアプラン点検により、ケアプランの質の向上と適正なサービスの提供を目指します。(P95)	地域ケア個別会議を活用し、ケアプラン点検を行います。 ・地域ケア個別会議 年2回、8事例 ※町内ケアマネジャー1人あたり1事例	・地域ケア個別会議(居宅介護支援事業所対象) 年2回、8事例 ・モニタリング(半年後) 3事例	◎	平成30年度は、年9回の地域ケア個別会議を行い、うち2回が居宅介護支援事業所のケアマネジャーのアセスメント及びプランについて、ケアプラン点検を兼ねて実施しました。また、半年後に3事例についてモニタリングを行いました。平成31年度も引き続き実施します。
	①自立支援・介護予防・重度化防止		★地域で支え合って暮らせる黒潮町(P41～) ケアマネジャー等連絡会や研修会を通じて、ケアマネジャーの支援を行います。(P52)	ケアマネジャー等連絡会や研修会を通じて、ケアマネジャーの支援を行います。 ・ケアマネジャー等連絡会 2ヶ月に1回 ※ケース検討あり。 ・ケアマネジメント連絡調整会議 年1回 ・研修会 適宜開催	・ケアマネジャー等連絡会 2ヶ月に1回(年6回) ※うちケース検討 4回 ・ケアマネジメント連絡調整会議 年1回 ・研修会の情報提供	◎	ケアマネジャー等連絡会やケアマネジメント連絡調整会議を開催し、保険者や地域包括支援センターからの情報提供を行ったほか、ケアマネジャーから困難事例等を提出してもらい、意見交換や支援方法の検討を行いました。また、多職種広域研修やケアマネジメントの質の向上のための研修(広域研修)への参加の呼びかけなど、随時情報提供を行いました。平成31年度も引き続き実施します。
	②給付適正化	黒潮町の介護サービスの利用状況を見ると、施設サービスの需給率や受給者一人あたりの給付月額が全国平均や県平均より高く、在宅サービスは全国平均より低くなっています。また、町内に入院できる医療機関がないため、入院や救急対応は近隣市町へ依存しています。医療系の介護サービス事業所も少なく、町内における在宅医療・介護の環境を整える必要があります。	★介護が必要になっても安心して暮らせる黒潮町(計画P72～) 自宅で適切に医療・介護のサービスを受けられるよう、訪問看護ステーションの整備・拡充に取り組みます。	医療保険の訪問看護を提供している佐賀診療所と協議し、介護保険の訪問看護事業所の開設を進めます。 ・利用者数(月平均) 介護29人、予防4人 ※他市町村のサービス利用も含めた計画値	平成30年10月、佐賀診療所が介護保険の訪問看護事業所「訪問看護ステーションかけはし」を開設しました ・利用者数(月平均) 介護26人、予防4人 ※他市町村のサービス利用も含めた実績値	◎	新たに開設された訪問看護ステーションについては、平成30年度の介護保険の利用実績はありませんが、地域包括支援センターやケアマネジャーからつないで医療保険の訪問看護を利用したケースは複数あります。より利用しやすいサービスになるよう、佐賀診療所と協議を行ってまいります。